

平成 26 年度 第 11 回運営委員会議事録

- 日 時 : 平成 27 年 3 月 17 日 (火) 18:00~20:00
- 場 所 : サプリ村野 環境保全研修室
- 出席者 : 伊丹、井上、末岡、竹島、田中_晃、田中_靖、谷口、丸井、大倉 (環境総務課)
- 欠席者 : 鎌田、進藤、豊高
- 議 長 : 井上 ■議事録作成 : 事務局
- 配布資料 :
 - ・ 2014 年度 温暖化対策事業推進チーム 第 12 回ミーティング議事録
 - ・ 平成 26 年度 第 11 回まちづくり部会議事録
 - ・ 平成 26 年度 第 7 回公共交通部会 議事録
 - ・ 平成 26 年度 第 8 回自然エネルギー部会報告
 - ・ 平成 26 年度 第 10 回教育サポート部会議事録
 - ・ 平成 26 年度事業報告書案
 - ・ 平成 27 年度事業計画書案

1. 報告事項

(1) 事務局報告

- ・ 地球温暖化対策ミーティング報告

我が家のエコノートの参加者は、現在 100 名強である。そのうちの約 4 割が 2 回目、さらにそのうちの 1 割が 3 回目の提出をされているという状況である。議事録のとおり。

(2) 部会報告

①まちづくり部会

3 月 21 日 (土) に枚方宿場町でフォトラリーを行う。今年は、五六市とは別の日に開催する。その理由は、現在の宿場町は五六市以外の日の閑散として現状をわかってもらい、どうしたらいいかを皆に考えてもらうきっかけになればとの思いである。

②公共交通部会

4 月 4 日にバススタンプラリーを行う。現在申込者数は、285 名である。当日の協力をよろしくお願ひしたい。

③自然エネルギー部会

エコフォーラムについて話し合った。他は議事録のとおりである。

④環境教育サポート部会

エコフォーラムについて話し合った。他は議事録のとおりである。

2. 協議事項

(1) 事業報告書・計画書案について

事業報告案・計画案について添付の原案を読んで各自の部会個所を確認していただきたい。また他部会の箇所について、意見があれば出してほしい。

特に事業計画については、環境基本計画の施策の中で新たに事業展開できるものがあれば取り上げていきたいと思っているので何か案があればお聞かせ願ひたい。

収入、支出の欄は、まだ、確定ではない。

(主な質問・意見)

○環境ミニ講座について

- ・どの事業に区分されているのか。
 - 報告の方は、環境情報コーナーの委託事業の中にある。計画の方では、どこにいれるべきか迷っている。環境ミニ講座は、昨年、環境情報コーナー委託事業が始まった際にここを知っていただく事を目的に始めた。しかし、今年度は、参加者も多く、毎月開催ということで準備作業にもかなり時間がかかっている。
 - 一つの事業として独立させるべきではないか。現状、情報コーナー委託事業に含める範囲を越えたものとなっている。また、内容をさらに充実させ、グレードアップしていくことも視野にいれ、新規事業として、補助を受けるべきである。いきいき広場では、1回2万円程度の予算がついているのでその程度はほしい。
 - ・環境情報コーナーを知ってもらう方法の一つの手段として、広報の中に、環境情報コーナーの固定枠を設けることはできないか？ミニ講座は毎月開催なので、毎月掲載する内容がある。他の施設では、枠があるところが多い。
 - ミニ講座が市からの委託事業ということになれば可能。検討しておく。
 - ・会員の団体が講座をする場として提供する月があってもいいのではないか。
- (結論) 平成 28 年度に環境ミニ講座が新規事業とできるよう 10 月までに決める

○くらわんか塾

- 昨年、くらわんか塾で、S-EMS 支援者養成の講座もしてほしいという意見がでた。
- くらわんか塾のステップアップ講座として、+3 回くらいで、S-EMS 支援者養成の講座を行ってはどうかと考えている。
- (結論) くらわんか塾を 2 段階とする。

○環境団体支援

- ・今年度、他団体のリーフレット作成などの協力をし、好評であった。また、他団体の方から、こういうことをしたいのだがどうしたらいいか等の相談も多い。これは、設立目的にも含まれる中間支援組織としての役割である。これを事業としていくことはできないか。
 - アドバイザーは、だれにでもできる事ではない。リーフレット作成などの支援事業とは一線を引いて、アドバイザー事業として独立させた方がいいのではないか。
- ・枚方市内には、多くの人材がいる。その方たちを活用し、紹介できるようなデータベースをつくってはどうか。
 - 現在、市に登録システムがあるが、あまり活用されていないのではないか。人をどう精査するかが難しい。
 - 登録の際には、必ず面接する
 - 登録と紹介は別である。登録は選別せず受け入れればいい。紹介については、公で行うと公平性などの観点からやりにくい面があるので、当団体に任せてもらえば、うまくできると思う。出前授業の窓口なども、当団体に一本化していただけたら、よりうまくコーディネートできる。
 - 講師紹介やアドバイザーなどの事業も看板が必要である。それには、市の協力が必要である。

(結論) 平成 28 年度に位置づけられるように今年の 10 月まで検討を続ける。

○環境学習教材

- ・ どのような教材をつくろうとしているのか。
 - 節電コンテストなどで集まった市民のアイデアを整理し教材とする。
 - 事例などは、進化させないと教材にはならない。教材というのは、順を追って説明し、最終的に何を理解させたいか、伝えたいか、という、しっかりとした結論がなければならない。

(結論) 事業とする前に、教育サポート部会全体で、現在行っている出前授業のそれぞれのテーマについてのきちんとしたプログラムを作成する方向で取り組んでいく。

○まち美化活動推進事業(2)良好な景観形成の推進事業

- ・ 花はどこから仕入れるのか。また、どこで行うのか。
 - 枚方市の「市の花と緑のまちづくり事業」の補助を受ける。二宮公園および楠葉の表参道に設置する。
 - それは、アダプトの場所ではないか。それなら、アダプトと記載した方がいいのではないか。
- ・ この事業名と事業内容は合致していないのではないか。
 - 花のプランターをおくことが必ずしも良好な景観につながるわけではない。
 - 良好な景観という言葉からイメージするのは、建築協定などによる地域のまちなみ保全といったものである。それは、NPOで担えるものではない。

(結論) 再度、検討する。

(2) その他の協議事項

○環境講座の総合チラシを、総会で配りたい。

- まず、日程等概要だけでもいいので確定した内容を記載したものを作成し、総会終了時配る。

(結論) 各講座の担当者は作成に向け概要の詰めを行う。

○今年度、新しく入った方の歓迎会的なものをしてはどうか。

- 5月に総会があるので、総会に来てもらうよう呼び掛ける。行うなら秋。
- 会員証をつくって、総会で配ってはどうか。

(結論) 検討することとした。

次回運営委員会

- ・ 2015年4月21日(火) 18:00~20:00 サプリ村野環境保全研修室